

【林・糞谷地区内新設道路の2・3工区の整備予定は？】

上 藤沢・林・宮寺間新設道路2工区については、三ヶ島工業団地周辺地区土地
区画整理事業の中で整備が進められています。また、3工区（林運動場付近～
入間市宮寺の南矢荻バス停付近）のうち所沢市分約368mについて、令和4年度は
関連予算として**用地購入費など合計8789万4千円が計上**されました。今後の実施スケ
ジュールは令和5年度までに用地を取得し、令和6～7年度に道路築造工事が行われ
る予定になっています。

【三ヶ島工業団地周辺地区における産業団地の創出に向けて】

三ヶ島工業団地周辺地区（林1丁目地内）における産業団地の創出については、
所沢市としても優先的に取り組んでおり、地権者組織である土地区画整理組合
の設立認可に向け、準備会による最終的な検討が進められています。なお、本年度は
上記道路の用地取得等に係る予算（約2億5千万円）などが計上されています。その他、
三ヶ島地区関連の主な事業としては、三ヶ島3丁目・5丁目・林1丁目地内の**下水管
布設**、東狭山ヶ丘3丁目地内の**配水管布設**、西狭山ヶ丘1丁目地内の**市道の舗装工事**、
三ヶ島中のトイレ（2系統目）洋式化工事、**三ヶ島小の屋上防水改修・太陽光発電設
備設置工事設計**、**林小体育館のトイレ洋式化工事**、**三ヶ島小・林小・狭山ヶ丘中体育
館照明灯のLED化工事**、三ヶ島2丁目里山保全地域内の土地の取得、堀之内地内の
水路改修工事に係る予算などが計上されました。

【オンラインセミナーを開催します！】

Web会議サービス「ZOOM」を使用したオンラインセミナーを
以下の日程で実施いたします（参加費無料）。

①5月28日（土）14時～15時

②6月19日（日）14時～15時

※「ZOOM」を開き、IDとパスコードをご入力願います。

ミーティングID: 630 353 4520 パスコード: nKK3FP

また、右下のQRコードをスマートフォンやタブレット
端末から読み取っていただきますと自動的に
ZOOMアプリが開き、参加することができます。
今回は年金制度の基礎知識、ねんきん定期便
の見方等について取り上げる予定です。



所沢市議会
6月定例会の予定

6月7日（火）～
6月29日（水）

※正式な会期日程は、
5月31日（火）に
決定いたします。

【プロフィール】

- 1970（昭和45）年2月3日、所沢市生まれ。
- 1993年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー（1級FP技能士、CFP認定者）・防災士。
- 2019年4月、所沢市議会議員選挙にて当選（連続4期）。
- 市議会議長（第64代）、市議会副議長、市監査委員（議員選出）などを歴任。
現在、市民文教常任委員会委員。
- 所沢明生病院地域評議員・日本防災士会地方議員連絡会会員。



ご意見・お問い合わせ等 **090-8115-3715** 【Homepage】 www.oginoyasuo.com
【E-mail】 tokorozawa@oginoyasuo.com

●編集・発行／荻野泰男事務所 〒359-1166 所沢市糞谷1746-1

所沢市議会議員【無所属】

おぎ の やす お
荻野泰男

市政レポート Vol.84

（納得できる所沢市政を！！） May, 2022

Ogino Yasuo Tokorozawa Shisei Report



（ 新年度予算は原案可決 新教育長に中島氏 ）

令和4年所沢市議会第1回定例会は2月17日から3月25日まで開催され、
市長から提出された令和4年度所沢市一般会計予算をはじめとする
当初予算案を中心に審査が行われました（全て原案通り可決）。

一般会計予算の総額は**1103億3千万円**（前年度比2.7%増）、歳入のう
ち**市税**が約525億円（同1.3%増）で、全体の**47.6%**を占めています。
一方、歳出については**社会保障等の福祉関係費**を中心とする**民生費**が約
535億円（同3.5%増）となり、全体の**48.5%**を占めています。**土木費**は
約101億円（同1.7%減）、**教育費**は約110億円（同3.6%増）となってい
ます。なお、議員提出議案「**ロシア連邦によるウクライナへの侵攻に断
固抗議する決議**」を全会一致で可決しました。最終日には大岩幹夫教育
委員会教育長の任期満了に伴う後任として中島秀行氏（前富士見市立勝
瀬中学校長）が新たに任命されました。

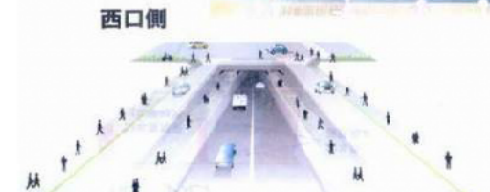
【令和4年度に実施予定の主な事業の概要について】

1. 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1工区）
（事業費総額 4億3871万5千円）

●都市計画道路**所沢駅ふれあい通り線**は、主要地方道東京所沢線から所沢駅東口中央通り
くすのき台交差点までの延長780m、幅員20mの道路で、**鉄道と立体交差**することにより、
駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものです。

●このうち、主要地方道東京所沢線から鉄道敷（アンダー
部分）までの延長330mは、**所沢駅西口土地区画整理事業**に
より建設工事を行い、アンダー部分から東村山第7号踏切
（大踏切）の通りである市道1-525号線までの延長170mに
ついて、本事業により建設を進めるものです。

立体交差部（アンダーパス）
イメージ図



- 【今後の実施スケジュール】
- ・令和4年度：用地取得、鉄道施設の移設工事
- ・令和5～10年度：整備工事

2. 所沢駅西口地区まちづくり事業 (事業費 1億140万8千円)

●西武鉄道所沢車両工場跡地を含む**所沢駅西口地区**については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、**土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行**により、都市基盤の整備および計画的な土地利用を誘導する街づくりが進められています。

●令和4年度においては、所沢駅周辺の各拠点の回遊性を高める**歩行者動線の詳細設計および工事**を行います。

●なお、車両工場跡地に建設される**複合商業施設**は令和5年度中に完成予定となっています。



3. 市庁舎施設整備事業 (事業費総額 1億2760万円)

●市役所本庁舎は**竣工後36年が経過**し、耐用年数を超えている設備が多数あることから、緊急修繕件数が年々増加している状況です。

●この事業は、**所沢市公共施設長寿命化計画**に基づき、施設の延命化を図るため、**改修対象設備(空調・給水設備)の設計業務**を行うものです。また、改修のための全体像を把握し、作業工法・仮設計画を立て、効果的な改修に向けた全体計画を作成します。

●なお、令和3年度に引き続き、自動昇降機(エレベーター)の改修工事も実施します。



4. 一般廃棄物減量化方策推進事業 (事業費 2107万8千円)

●本市のごみ量は平成28年度まで順調に減少してきましたが、29年度以降に減少率が鈍化傾向となりました。令和元年度に更なるごみ減量方策に関して**所沢市廃棄物減量等推進審議会**に諮問したところ、同審議会から「**ごみ有料化制度の導入**」が更なるごみ減量方策として期待できるとの答申が示されました。

●令和4年度は更なるごみ減量・資源化の推進に向けて、ごみ処理手数料の見直しや他市の先進的な事例の調査を行い、必要な計画等の策定を推進するものです。



5. ところワゴン実証運行事業 (事業費 4601万3千円)

●市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保が喫緊の課題となっています。また、駅を中心とした一定の範囲を市民の生活圏としてとらえた視点が**所沢市都市計画マスタープラン**に示されたことを踏まえ、駅を中心としたコンパクトな街づくりと合わせて、**駅へのアクセスの向上**が求められています。

●住まいと駅周辺の都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの構築に向けた取組として、新たな公共交通である「**ところワゴン**」の実証運行を行うものです。三ヶ島地区に続き、令和4年度は柳瀬地区において実証運行を開始します。



荻野泰男の一般質問 (3月7日) から



無電柱化の推進について

Q.

無電柱化の推進に関する法律で努力義務とされている無電柱化推進計画の策定に本市として舵を切った経緯は?

また、今後の事業化にあたって、無電柱化を検討する道路の優先順位についてはどのように判断していくのか?



A.

所沢市都市計画マスタープランにおいても歩行者・自転車空間の整備、防災性の高い市街地形成の推進等により無電柱化を推進するものとしている。このことから計画を策定することになったものである。

検討路線の優先順位については、安全で円滑な交通空間の確保や防災力の強化に資する道路等を総合的に考え、そのときの社会状況や財政状況等を踏まえ、判断していく。

秋田家住宅で“出開帳”を!

Q.

歴史的建造物整備活用事業に対する市民の理解を深め、機運を醸成するために市教育委員会として今後どのように取り組んでいくのか、また、秋田家住宅を活用した文化財等のいわゆる「出開帳」を検討してはいかがか?



A.

市教育委員会では本年2月に秋田家住宅の特別公開を実施するとともに関連資料の展示を行い、本事業の周知を図った。また、3月には文化財説明板を設置した。今後も秋田家住宅の公開に合わせ、商家の資料などを展示することで織物産業で栄えた街場の賑わいを市民のみなさまに伝えていきたい。

※今回の質疑及び一般質問では、マンション管理適正化推進計画の策定について取り上げたほか、一般会計当初予算のうち、地域公共交通計画策定事業等についての質疑もあわせて行いました。

陸上競技選手権大会終了の経緯は?

Q.

所沢市陸上競技選手権大会の事業終了の判断に至った経緯と理由は? また、市教育委員会として陸上競技に係る環境の整備、機会の確保等に今後どのように取り組んでいくのか?



A.

この大会は本市のスポーツイベントとして市民の体力向上やスポーツ振興に大きく寄与してきた。しかしながら、運営方法について早稲田大学側との調整が難航し、改善が見込めないことから、官学連携の在り方として今後は新たなスポーツの普及啓発を図り、市民の健康増進に取り組んでいくこととし、大会の終了に至ったものである。

陸上競技については所沢市総合型地域スポーツクラブと連携協力しながら、情報発信に努めていく。

樽井戸川上流の今後の管理は?

Q.

樽井戸川上流(糎谷地内)は平成23年度と25年度にふるさとの川再生事業として整備工事が行われたが、整備当時に想定していた状態と現状について、市としてどのように認識しているのか?

今後、市として何か対応は検討しているのか?



A.

樽井戸川上流の整備については多自然型川づくりの観点から、ふとんかごによる護岸工事を行い、さらに緑化を進めるため、植物の種子を吹き付けたシートで覆った。しかしながら、緑化については想定通りに進まなかったものと認識している。

ふとんかごの緑化や残存しているシートへの対応については維持管理をお願いしている糎谷八幡湿地保存会と協議していく。

※右のQRコードから議会中継のサイトにアクセスされると、荻野泰男の質疑及び一般質問の動画をご覧いただけます。

